

それぞれの 見守り、看とり、平穏死。

2020年

春野でシンポジウムとカタリバ

全2回：3/1・3/22 14～16時 場所：みんなの家



3.1日

うめたちあき(創作童謡、歌手)



3.1日

田中康彦(カヤック、和紙づくり)



3.22日

遠藤徹郎(医師、僧侶)

3/1日『見守り、看とり、おくり 三者の語り』

- うめたちあき (シンガソングライター・創作童謡作家、母の看とり、父の見守り)
- 田中康彦 (カヤックと和紙制作、妻の見守り 20年、看とりと手作り葬)
- 池谷 啓 (著述業、親のおくり体験、仏教と宗教のあり方研究)

参加費

無料：予約不要 (先着30名)
どなたでも。椅子あり。人数が多いときは、立ち見。

問合せ

☎ 080-5412-6370(池谷)
Mail: info@raksha.jp.net

3/22日『いかに平穏死を迎えるか』

- 遠藤 徹郎 (医師、医療法人社団光久会 理事長、はるのケアセンター・もちの木診療所 院長、まほろば文庫 主宰、僧侶)



会場

みんなの家

浜松市天竜区春野町 961-1
藤ノ瀬ホテル公園のすぐそば (駐車場あり)
TEL 053-983-5010

主催：NPO法人楽舎

後援：浜松市

助成：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

●人生の厳粛な事実と、どうつきあうか。



肉 親の〈見守り〉は、どうしたらいいか。〈平穏死〉を迎えるには、〈看とり〉のありよう。〈おくり〉は。

納 得のいく〈看とり〉と〈おくり〉をしたい。そのためには常日頃の〈見守り〉が重要なこと。

こ れまで、2年にわたって講座を開催してきた。それぞれの宗教者、実践者のシンポジウムを開催し、「カタリバ」をつくってきた。今回は、自ら実践されてきた3人の話を聞く。

医 師であり僧侶の遠藤徹郎さんは、はるのケアセンター（デイサービス／老健）と、もちの木診療所を設立した。これまで数々の平穏死、看とりを体験された。

創 作童謡と歌をうたいつづけている、うめた・ちあきさん。母の看とり、そして父の見守りについて深い体験をされ、それらを歌にしている。

ア ルツハイマーの妻の見守り20年、介護、そして平穏死から手作り葬を実践された田中康彦さん。

3 人のお話を聞く。司会&ファシリテイトは、母の看とりを行い、自らお経をよみ、おくれた体験のある池谷（NPO法人楽舎理事長）が行う。

そ れぞれの〈見守り〉、〈看とり〉、さらには〈おくり〉など、参加者も含めて自由に語りあう場にしたい。

●これまでの開催した講座とテーマ。



過去の開催日	テーマ	助成事業	講師	講師プロフィールと内容
2018.2/25	仏教のおくりとは	みんなのはままつ創造プロジェクト	みえおかげんし 笹岡賢司	曹洞宗・龍谷寺住職。自殺防止ネットワーク、巡礼の会、国際ボランティアなど、幅広い活動を行っている。仏事・法事についてのなんでも相談を行った。
2018.3/4	エンディングノート	みんなのはままつ創造プロジェクト	いながきほうえん 稲垣邦圓	臨済宗方広寺派・宝珠寺住職。お寺独自にエンディングノートを作り、檀信徒と学びあいの場をつくっている体験を語った。
2018.3/10	神道のおくりとは	みんなのはままつ創造プロジェクト	まつしたすいせい 松下水正	神道系宗教法人役員・神職。30年余の神職経験から、神道の〈おくり〉について、〈おそれ〉〈かしこむ〉〈つつしむ〉という神道のありようについて、語った。
2018.3/18	死を見据えて生きる	みんなのはままつ創造プロジェクト	むかいれいこう 向令孝	臨済宗方広寺派・祥光寺住職。「いまここ道場」主宰。ドイツで禅の指導をしている。死を見据えること。それは、いま生きていることに真摯であること。禅と生きざま、死にざまについて語った。
2018.3/24	キリスト教の死生観	みんなのはままつ創造プロジェクト	かんべてるあき 神戸輝明	笠井キリスト福音教会・牧師。東大で森林環境学を学んで牧師への道に入った。スウェーデン人の宣教師が創設した教会を継承。キリスト教の死生観について、語った。
2018.3/25	インド人の死生観	みんなのはままつ創造プロジェクト	よこた 横田スワリナリ	東インドのベンガル州出身。仏教の源流はインドにある。数千年に渡って人々の意識の底流にあるヒンドゥーの死生観について語った。
2018.3/31	自分で親をおくる	みんなのはままつ創造プロジェクト	いけや けい 池谷 啓	自ら母親の〈おくり〉を行った体験をもとに、自分自身が親をおくるというありようについて、語った。著述業。仏教書、医学書の編集に携わる。仏教、宗教に関して数多くのフィールドワークを行っている。
2018.8/25	臨床現場の僧侶が語る「看とりとおくり」	(公)在宅医療助成 勇美記念財団	みうらのりお 三浦紀夫	真宗大谷派僧侶／ビハーラ 21 事務局長。上智大学グリーンケア研究所講師。見守り、看取り、おくりを実践している体験を語った。

上記会場は、鴨江アートセンター、クリエート浜松

〈ファシリテーター：池谷 啓〉

司会 & コーディネーター。NPO 法人楽舎 代表。著述業。仏教書、医学書の編集。仏教、宗教、インドのフィールドワークを行っている。

〈NPO 法人 楽舎〉

楽舎は〈山里とまちなかをむすぶ〉、〈古き伝統といまをむすぶ〉などの事業を行っている。天竜区春野町への定住促進、耕作放棄地を蘇らせて完全無農薬の米づくりなどの農林業体験。市内の神社と寺と教会を市民をむすぶ「神社・寺・教会カフェ」。「納得のいく看とりとおくり」の連続講座。山里の暮らしを伝える「山里めぐり」、伝統の祭や匠の手仕事の技を伝える「いにしえをつなぐアーティスト」。山里での暮らしを紹介する「こんなにアートフルな山里暮らし」、まちおこしの「昭和レトロの二俣めぐり」などを主催してきた。

事務所：浜松市天竜区春野町 946-1 Mail：info@raksha.jp.net ☎ 080-5412-6370
http://raksha.jp.net/mitori-okuri/

〈みんなの家〉

デイサービス（通所介護施設）10人定員の家庭的なゆったり施設。元気な方が通われる。

籠づくり（PPバンド）、毛糸編み、料理などの生活リハビリ。童謡、唱歌、昭和歌謡などをギターの手奏で歌う。

転倒予防、ストレッチ、マッサージ。ヨガや気功の動きを通してゆったり・ゆっくり。

そして、なによりおしゃべりに花が咲く。施設内に、保育預かりを設置予定（保育ママ制度）。

自由な見学も可。一日体験も受けている。

TEL053-983-5010